

平成30年12月4日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 田中 勝英
東京都中央区日本橋2丁目7番1号



太陽生命、滋賀大学・滋賀医科大学・日医総研と 認知症に関する研究を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(社長 田中勝英)は、日本医師会総合政策研究機構(以下「日医総研」)の協力のもと、滋賀大学(学長 位田隆一)および滋賀医科大学(学長 塩田浩平)と、認知症に関する共同研究を開始しましたのでお知らせいたします。

当社は、本格的な超高齢社会、「人生100歳時代」の到来に向け、「健康寿命の延伸」という社会的課題にこたえるため、平成28年6月より、「従業員」「お客様」「社会」のすべてを元気にする取組み、「太陽の元気プロジェクト」を推進し、様々な施策を展開してまいりました。その一環として、これまでも日医総研の協力のもと、認知症に関するアンケート調査の実施等に取り組んでおります^(*)。

本研究では、当社に蓄積された保険金・給付金支払データ等について、個人を特定できないように匿名加工したものをを用いて、認知症と、既往症や生活習慣との相関等の調査を実施します。これにより、認知症を発症するリスクの高い疾病・生活習慣等に関する新しい知見を得て、その成果を公表することで社会における認知症やその予防等に関する理解促進を図るとともに、当社の認知症関連商品・サービスの改善等へ繋げることを目指します。

なお、本研究では、平成30年10月発売の当社商品「ひまわり認知症予防保険」に関連するサービス「予防検査キャッシュバックサービス^(**)」(2019年10月受付開始予定)にてお客様からご提供いただく、MC Iスクリーニング検査結果および当社アンケートへの回答の活用により、既往症・生活習慣等のMC I(軽度認知障害。認知症の前段階)のリスクに与える影響等に関する研究をあわせて実施することを予定しています。

◇共同研究の概要◇

〔研究内容〕当社に蓄積された保険金・給付金支払データ等を用いて、認知症について、既往症や生活習慣との相関等を調査する。

〔研究目的〕認知症を発症するリスクの高い疾病・生活習慣等を明らかにする。

〔研究体制〕日医総研の協力による、滋賀大学・滋賀医科大学・当社の共同研究

〔研究期間〕2018年10月～2021年3月(予定)

当社は、今後も当社保有データを活用した外部研究機関等との協働による研究等を進め、商品・サービス開発に活かすとともに、認知症をはじめとする超高齢社会の課題解決に取り組んでまいります。

以上

(*) 平成29年7月12日付ニュースリリース「太陽生命 認知症に関するアンケート調査を実施」、平成30年8月28日付ニュースリリース「太陽生命の認知症アンケート調査に基づく日本医師会総合政策研究機構の研究が発表されました」参照。

(**) 平成30年9月18日付ニュースリリース「太陽生命、生命保険業界初『ひまわり認知症予防保険』を発売!～世の中から認知症をなくしたい～」参照。

